

令和5年度第3回オンライン自主研修 感想・意見

令和5年度 東灘区保護司会 第3回オンライン自主研修のご案内

【教材】



更生保護法人日本更生保護協会主催
オンライン講演会を開催します

令和5年度も、オンラインによる講演会（YouTubeで配信）を開催いたします。
更生保護関係者だけでなく、どなたでも無料でご参加いただけます。
学校関係者の方々、小・中学校等の保護者の方々へもぜひご案内ください！

第3回 **8月22日（火）10時～28日（月）22時**
7日間の期間限定配信
期間中は、ご都合のよい時間に視聴できます。

不登校を大人はどう理解するか？
—「生きる力」はきみの中にあるということ—

〈講演時間 約100分〉

第1部：年々増え続ける子どもたちの不登校。身近にいる子どもが不登校になったら？子どもが不登校になって悩む親から相談されたら？あなたはどうしますか。
不登校と向き合うための基礎知識、不登校の支援について基本的な考え方を話しします。

第2部：日本更生保護協会刊行「『生きる力』はきみの中にある」の12のワークを紹介。実際のワークを一緒に体験しながら、子どもたちの生きる力について考えます。

講師 立正大学心理学部教授
「生きる力」はきみの中にある 著者
鹿嶋 真弓 先生
博士（カウンセリング科学）
東京都内の公立中学校教員、沼子市教育研究所長、高知大学教育学部准教授、高知大学教職大学院院教授を経て、
2019年4月より立正大学心理学部臨床心理学科特任教授、
2022年4月より同大学教授。

参加費 無料

お申込みは講演会から

【自主研修の要領】 **事前申込制・申込方法は次ページ**

ご覧になった感想、意見を100字程度にまとめて
東灘区保護司会広報部会宛
「所属支部」「氏名」「掲載月日」を記入してメールください。（支部長による代行メールでも結構です）
送付期限は**令和5年9月15日（金）**です。（期限遵守と100字程度の感想・意見は必須です）

① 受講して改めて思い出した事、反省させられた事、多々ありました。

子供を対象としてその対応について話されていましたが、子供だけでなく、十分な大人に対しても当てはまる内容だと思いました。

・原因はわからない事が多い。原因を追求しても何も出来ない。ゴールイメージを持って、具体的アクションを一段一段進める事が大切だ。

・今しか出来ない事がある。それを我々から見て注意したり叱るのではなく、今しかできないことと許す心が必要だ。

・助けて！と言える力を養う、高める

・転んでも起き上がればそれで良い。

・個人個人、その成長は均一では無い。成長とは過去の自分から変化する事

また、第2部での赤ちゃんの話には感動しました。

私って実はこうなんだ！自分の人生の主人公は自分だ

などなど・・・

心に響く話でした。

ありがとうございました。

② 講演はわかりやすい、丁寧な内容で、パソコン画面に吸い込まれていくような感じでした。

「不登校」については、こども食堂を運営しているある保護司から話しとして聞く機会がありますが、受講経験もない私にとってはとても有意義なものでした。

ただ、一人で視聴して「うんうん」とうなずくだけでは物足りないものです。やはり、更生保護サポートセンターなどでオンライン集合研修として、視聴後の意見交換ができれば良いと思いました。

③ 後半部分のところで、個人内格差についての件があった。人と比べるのではなく、過去の自分と比べてどのくらい成長したかが大切ということである。

対象者の更生の過程においても、つついこち側が一般的な基準というものをいつの間にか意識し、そこに到達させようとしてしまう。そうではなく、その人がどれくらい成長したのかを見守ることが大切だということを再認識させられた。

④ 私自身は、教育業界とは無縁であり、初めて聞くお話ばかりでしたが、自分の子供が過去、期間は短かったものの不登校になり、妻と二人で悩んだ日々のことを思い出した次第です。ちなみにこれは、子供が小学校の時の話ですが、その後転校した学校の先生方のご理解とご協力もあり、元気に登校するようになりました。

また、現在、妻がフリースクールで教師として働いていくこともあり、興味深く拝聴することができました。

今回の講演の内容を参考にして、今後の保護司活動にも活用していきたいと思います。

⑤ 講義で紹介がありましたが、かつては「登校拒否」といった悪意のあるきつい表現であったものが「不登校」という事実を説明した客観的な表現に変わっています。それが最初の気づきでした。

そして、不登校に対する解決方法として、「(学校に行かなくても) こどもが成長していけばいい」を基本に、教師は「こどもが自分自身の意思によって生きていけるように支援する」ことが示されていました。このような発想も素人の我々にはなく、新しい発見になりました。

また、保護司活動においては、養護教諭が接点となる、という説明は参考になると感じました。

○令和5年8月26日 オンライン自主研修(サポセン集合)

第3回オンライン自主研修(サポセン酒豪)「不登校を大人はどう理解するか?—「生きる力」はきみの中にあるということ—」を開催したが、受講者は2名でした。「百聞は一見にしかず」そして「百見は一視聴にしかず(笑い)」わかりやすく丁寧なYOUTUBE講演会。視聴後の意見交換。とても有意義なサポセン研修でした。

前回7月3日は平日のため受講者2名はやむを得ないと思っていましたが、今回土曜日でも、なかなか増えないのが残念です。

